社長賞受賞
「ベイナイト組織を有する配管のクリープ余寿命評価法の開発」

1 概　　要

平成25年7月16日に，当研究所発電・材料担当の「ベイナイト組織を有する配管のクリープ余寿命評価法の開発」が，極めて有用な発明・創意等により，コスト削減，設備の信頼性向上などに顕著な貢献が認められるとして，社長表彰を受けました。

2 評価内容

火力発電所のベイナイト組織※1を有する蒸気配管の損傷メカニズムを明らかにし，高精度な余寿命評価を可能としました。今回の表彰では，効果的な修繕工事の実施に基づく火力発電設備の信頼性確保，これに伴う電力の安定供給への寄与，コスト低減効果等への期待が高く評価されました。

（後列左から）川端部長，苅田社長，平野所長，糸谷部長
（前列左から）発電・材料担当 松村副長，同 西田マネージャー，同 荒川大輔さん

Energia

表　彰　状

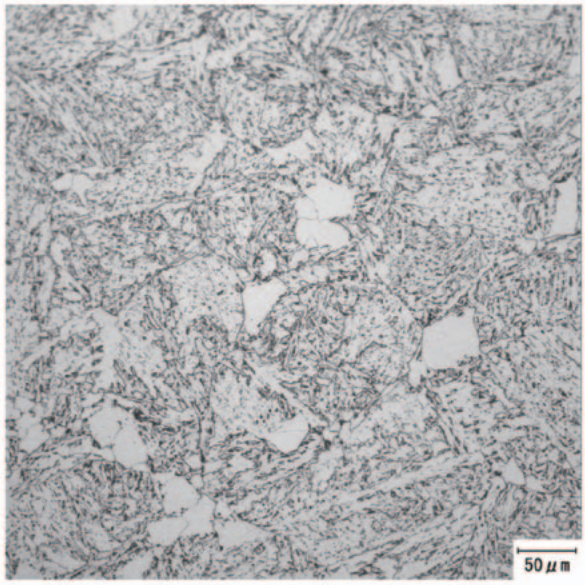
エネルギア総合研究所
発電・材料担当殿

貴担当が実施された研究・開発テーマ「ベイナイト組織を有する配管のクリープ余寿命評価法の開発」はこのたび第7回研究・開発推進会議において極めて優秀な研究・開発成果であると認められました
この成果は旺盛な研究意欲のたまものでありコスト削減および設備の信頼性維持への多大なる貢献が期待されるものであります
よってここにこれを表彰します

平成25年7月16日

中国電力株式会社
取締役社長
苅田　知英

※1【ベイナイト組織とは？】
製造過程での熱処理によって生じる針状組織で，経年的な使用過程で生じるものではない。また，組織が異なると強度も異なる。一部の発電所に見られ，余寿命評価手法が未確立だったもの。



ベイナイト組織の顕微鏡写真